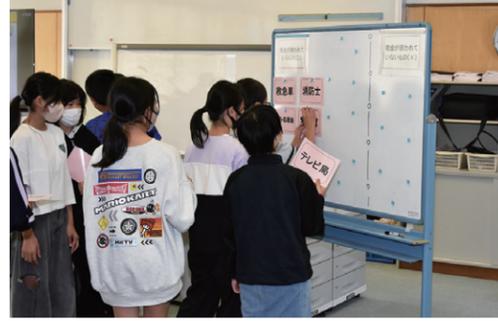


スクールピックアップ

身近にある「税」を楽しく学ぶ

小学6年生を対象とした租税教室は5月29日、猪苗代小学校で開かれました。

授業では、町の職員が税金の種類や小学校で使われる税金の金額などをイラストや映像資料で説明。児童は、「税金のある世界とない世界」を描いたアニメや税に関するクイズを通じて税の大切さや使い道などについて楽しく学びました。租税教室の最後には、1億円のレプリカで実際の重さを体験し、その重さに驚いていました。



税に関するクイズに回答する児童

猪苗代小の2年生が町探検

猪苗代小の2年生は6月11日、生活科の学習で町役場や猪苗代警察署など町内施設を5班に分かれて見学しました。このうち12人が町役場を訪問。職員の案内で庁舎内を回り、各課の仕事内容について学びました。児童たちは、職員の説明に熱心に耳を傾け、疑問に思ったことを質問していました。町役場を訪れた児童からは、「こんなに大きな議場が3階にあることを初めて知り驚きました」などの感想が寄せられました。



議場で職員の説明を受ける児童ら

花と共に思いやりの心を育む 町内の小学校で人権の花運動

子どもたちが協力して花を育てることで命の大切さや思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深める「人権の花運動」が5月から町内の小学校で始まりました。

猪苗代小の花の苗贈呈式は5月23日に、猪苗代第二小は6月4日に各校で開かれ、人権擁護委員が両校の児童代表者にサルビアやマリーゴールドなど計600本の花の苗を手渡しました。

猪苗代小では、児童を代表して6年生の小椋結捺さんが「プランターや花壇できれいな花を咲かせられるように一生懸命育てます」とあいさつ。猪苗代第二小では、5年生の石澤翔生さんが「花を大切に育て、思いやりの心や命の大切を知り、感謝の気持ちを持ちます」とあいさつしました。



贈呈式に出席した猪苗代小の児童ら



花の苗の贈呈を受けた猪苗代第二小の児童ら

ホットニュース



町役場庁舎に設置した応援懸垂幕



壮行会でパリ五輪での活躍を誓った選手たち

猪苗代町ゆかりの選手が パリオリンピックピックに出場

パリオリンピックピックに出場する本町ゆかりのバドミントン選手壮行会が7月4日に学びいなどで開かれました。本町ゆかりの選手は、震災当時、富岡第一中学校と富岡高校のバドミントン部に所属していた5人です。5人は、東京電力福島第一原発事故に伴い、活動拠点を富岡町から猪苗代町に移し、練習に励みました。

- 日の丸を背負い日本代表選手としてオリンピックに出場する選手を皆さんで応援しましょう。
- 男子ダブルス
 - 小林 優吾 選手
 - 保木 卓朗 選手
 - 混合ダブルス
 - 渡辺 勇大 選手
 - 東野 有紗 選手
 - 女子シングルス
 - 大堀 彩 選手

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

ちあき
戸倉 千秋さん

主な活動内容：農産物の6次産業化とブランド化



猪苗代町には、50種類以上の6次化産品があり、その中でも私が好きな産品は「凍み餅」です。味はもちろん、猪苗代に由来する「猪苗代町産のお米」、「お米が作られる豊かな自然環境」、「もつとも寒い時期に作られる伝統技術」、「作る人々の経験と知恵」などさまざまな資源を豊富に含んでいます。

このように6次化産品には、自然・歴史を含めた観光資源、伝統文化、住む人の経験・知恵など多くの地域資源が活用されています。さらに農林漁業者や地元企業も含めた地域の人の参画により農林水産物に付加価値を付ける6次化は、地域活性化に寄与する取り組みです。

農林課では、事業者と農業者の6次化を推進する「マッチング事業」を行っています。町の農林水産物を使いたい、使ってほしいという人は、戸倉にご連絡ください。